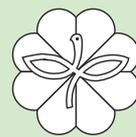


# 民間協会かやま

岡山市



第49号

令和4年4月1日



緒方洪庵の像（岡山市北区足守）

## 濟世

### 緒方洪庵（1810～63）と感染症医療

19世紀の江戸時代末から明治時代初めの日本で、ウイルスなどの病原体による感染症が猛威を振るっていた。数十万人が命を落としたとされる。その代表格はコレラ（虎狼痢）だった。この猛威に先陣を切り立ち向かった医師は緒方洪庵である。

備中国（現岡山県）足守藩の武士に生まれた洪庵は、\*大坂で蘭方医の中天游の思々齋塾に入門し西洋医学の勉強を始めた。江戸や長崎に遊学し、1838年に大坂で開業、同時に蘭学塾「適々齋塾（適塾）」も開いた。

洪庵は医学と教育という二つの分野で大きな業績を残した。感染症対策の一つに、1858年のコレラ流行時に治療指針として「虎狼痢治準」を緊急出版。西洋の医学書を参考にわずか6日でまとめ、医師らに百冊を無料で配った。

また、天然痘の予防にも尽力し、1849年、西洋で確立したワクチンを広めるため大坂に種痘所（徐痘館）を創設した。

教育の面では、日本陸軍の原型をつくった大村益次郎や慶応義塾を創設した福沢諭吉、日本赤十字社初代総裁の佐野常民らが巣立った。適塾には西洋学を志す有為な人材が全国から1000人も集まった。自由な空気に溢れ、身分などは関係なく蘭学の実力だけが問われたのである。塾には12か条の訓戒があり、その第一条が次のように、まことに厳しい。

「医者がこの世で生活しているのは、人のためであって自分のためではない。決して有名になろうと思うな。また利益を追おうとするな。ただただ自分を捨てよ。そして、人を救うことだけを考えよ」

洪庵にとって「道のため、人のため」は単なるスローガンではなく、生きた実践哲学であった。

\*江戸時代は大坂と表記

## 足守地区民児協の 取り組み

足守地区民児協

会長 番木 勸晴

私たちが足守地区は、足守川の恵みを受けて広がる田園地帯と、多くの山間地を有する地区で、昨年十月の統計では、総人口六千三十七人、高齢者率四十一・八%と岡山市の中でも非常に高齢者の割合が多い地区です。当然ながら高齢者一人暮らし、または高齢者のみ世帯の多い地区で、しかも全般的に家々が点在し、委員の見回り活動も距離が遠いため時間を要してしまいます。

さて今回、そのような足守地区の活動の中で、長年続けて実施されている敬老慰問活動についてご紹介させていただきます。

九月の敬老の日に合わせ、八十歳以上一人暮らしの方、及び六十五歳以上寝たきりの方に、当会で用意した記念品をお配りします。昨年は合



計で二百十二個となりました。

各委員とも日頃より見守り活動に励んでいるのですが、実際には委員個々の状況は様々で、格差があります。地区全体を鑑みるに、見守り活動の全体的な向上に繋がりますし、

担当地区の明確な把握にもなります。この慰問活動を通して、敬老の意を心よりお伝えし、ますます心が打ち解け相談されやすい関係性作りの契機となればと考えています。

しかしながら、昨年は八月二十七日から九月十二日までの期間、新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言が発令、続いて十三日より九月末日まで蔓延防止等重点措置期間となり、敬老慰問活動も危ぶまれたのですが、足守地区内の感染状況は非常に少なく、一対一の短時間の対応なので、緊急事態宣言解除後、万

全なる感染予防対策とともに訪問することにし、敬老慰問活動はなんとか実施することができました。

一昨年までは、大手の菓子メーカーに柔らかかそうなお菓子を注文し、箱詰めにされたものをお配りし

ていましたが、昨年からは足守地区内にある福祉施設で「ももどの福祉園」さんにお世話になり、ポン菓子の詰め合わせにさせていただきました。就労継続支援B型の利用者さんが一生懸命に作られ、敬老の記念品らしく、紅白のお米のポン菓子と緑色の抹茶味マカロニボン菓子で綺麗にパッケージングして下さり、お渡しした高齢者の皆さんに好評でした。

微力ながら、就労継続支援とそこに携わる福祉施設の応援も兼ねることができ、一石二鳥の良い活動がで





## 環境・地域を守る企業への視察研修 (南区西福社区民児協理事会)



三年三月五日(金)、見学に行きました。

「藤クリーンリサイクルセンター」では、家やビルの解体工事が出てきた汚泥・コンクリートガラ・廃プラスチック・木くずなどが分別され、重機などで破碎されて碎石・砂・土・燃料へと再資源化される様子を見学しました。

「藤ファーム」は、リサイクルセンターにほど近いところに位置しています。土壌には再生碎石・砂が使われることで資源の循環を具現化し、野菜やブドウ、椎茸を栽培しています。将来的には、ビニールハウスでの燃料に廃プラスチックを使用することや子どもたちの農業体験や食育も実現したいと話されています。

再生碎石や古畳を活用したコンテナピオガーデンやリサイクルセンターの周囲にある全長二百六十mの



セラピーガーデンは、見学者や地域の方の散歩コースとして開放されています。近くに車を停めて歩くことができるため、「高齢者のサロンなどでも活用してください」との声をいただきました。環境問題に取り組むだけでなく、心と体の健康を保つことができる地域の人の憩いの場も提供されていることがわかりました。

他にもコンケングループは、災害時に避難住民を受け入れる協力協定を岡山市と結んでおり、備蓄倉庫に食料や簡易コンロなどの資機材だけ

でなく、救命ボートやライフジャケットも備え、三日程度の避難生活を送ったり、救助にあたりたりできるようにしているとのことでした。今回の視察研修を通して、環境だけでなく、防災・救命にも尽力してくださる企業が西福社区内にあることを知りました。このご縁を大切に、今後はセラピーガーデン等の散歩を通してリサイクルセンターのスタッフと顔なじみの関係を作り、災害時にお互いに助け合いができるようにしていきたいと思えます。



SDGs (持続可能な開発目標) の理念に沿って、本業だけではなく地域の環境教育や健康づくりへの貢献も目指す「コンケングループ」が南区西福社区内にあり、その拠点グループ企業「藤クリーンリサイクルセンター」と「藤ファーム」へ令和

## 部会の コーナー

### 主任児童委員会

## 「新任者研修について」

主任児童委員会

部長（幡多学区民児協）

守安 真理子

一斉改選が行われ、早や二年がすぎました。今年もコロナ禍でさまざまな行事、研修が出来ていない中、月に一度の幹事会を行った時、地区主任児童委員さんより、「新しいメンバーの方がどのように活動しているのかわからない」と言う声が聞こえて来ました。

幹事の皆さんと話し合い、主任児童委員部で新人研修を行えたらと言う意見が出て、コロナの発生状況を考え十月頃に行えればと言うことになりました。

講師には、前主任児童委員部部長の長寿和子さんをお願いしたところ、ころよく引き受けていただき、コロナ禍の中ではありましたが勤労者福祉センターで十月十五日に開催することが出来ました。

当日は、本会の岸本会長よりお言葉をいただきました。参加してくださった新人の方には、体温測定器で体温を測りアルコール消毒もしてもらい予防を徹底しました。

新人の参加者は、全員で約五十名弱でした。研修内容は主任児童委員の役割と活動について

- ①子育て支援活動
- ②児童健全育成活動
- ③個別支援活動

の分野で区域を担当する児童委員と連携し協力して活動する。

さらには、学校や地域子ども相談センター等との関係機関と連携を図りつつ、子どもが安心して地域でくらするようにする。

特に学校には、よく顔を出し先生との信頼関係を作って

いくことが大事です。

最後に大切なこととして、守秘義務を守る、絶対に一人で抱え込まない、無理をしない、出来ることを出来るときに出来るだけしていきまさんの経験のお話もあり新人の皆さん

んは熱心にメモを取っていました。まだまだコロナ禍の中、子どもたちの生活が見えませんが各地区の主任児童委員の人たちは、大変ですが自分達が出来ることを気をはらずやっていけたらと思います。



## 個別避難計画作成についての説明会の開催

「誰もが安心して暮らしていける地域づくりに向けて」

岡山市危機管理室

### 個別避難計画とは

毎年のように豪雨や地震等の大規模災害が発生し、高齢者や障害のある方などの災害時に自ら避難することが困難な「避難行動要支援者」といわれる方々が多く被害に遭われております。特に、平成三十年七月豪雨災害においては、倉敷市真備町内で犠牲になられた方のうち、約九割近い方が六十五歳以上の高齢者の方であり、浸水した自宅の一階部分で、自力で二階以上に上がることができずに亡くなられている方も多くおられました。

こうした中、国において、令和三年五月に、災害対策基本法が改正され、避難行動要支援者一人ひとりの避難支援のための計画（Ⅱ「個別避難計画」）を作成することが、市町村の努力義務となりました。計画作成にあたっては、全体の推進役として市町村が主体となり、地域の自主

防災組織や民生委員・児童委員、ケアマネジャーなどの医療・保健・福祉の専門職などの関係者と連携して作成することとされています。

過去の災害においては、地域の自



主防災組織等が中心となり、普段から地域全体で要支援者の方々を把握し、避難計画の作成や、避難訓練を実施していたことで、逃げ遅れを防止できた事例も多く、誰もが安心して暮らしていける地域づくりに向けて、個別避難計画の作成を通じて、地域における避難支援体制を構築していくことが重要となっています。

### 個別避難計画作成についての説明会の開催

個別避難計画作成の取り組みを推進するため、岡山市危機管理室では、令和三年八月～十月にかけて、地域の自主防災組織や町内会、民生委員・児童委員の方々向けに、個別避難計画作成についての説明会を計十回にわたり開催しました。

新型コロナウイルス感染症対策の観点から参加人数を制限させていただいたものの、民生委員・児童委員の皆さんにも多くご参加いただきました。

当日は、危機管理室からの説明に加え、有識者による基調講演、実際に計画作成に取り組んでいる千種学区の取組紹介等を行いました。参

加した方々からは、「取り組みのイメージを持ってよかった」「自分たちの地域でも取り組んでみたい」といった声を多くいただきました。

危機管理室では、各地域での計画作成の推進に向け、計画作成に取り組んでみたいという地域の自主防災組織や民生委員・児童委員等の方々に対し、個別に出前講座を開催しております。これから取り組みを進めていきたいという地域の皆様がおられましたら、ぜひ危機管理室までお気軽にご連絡ください。



## 岡山市行方不明高齢者 さがしてメール事業 について

この事業は、認知症で行方不明になる恐れがある高齢者の情報を登録した上で、その方が行方不明となった場合に、家族などからの依頼により、行方不明時の状況や身体的特徴、服装などの情報を捜索協力者に対して電子メールで配信し、情報提供をお願いするものです。

### ●事前登録者の募集

認知症で行方不明になる恐れのある高齢者の情報を事前に登録します。もし、ご近所、担当区域内で認知症により行方不明になる恐れのある高齢者やそのご家族をご存じでしたらこの事業をご紹介ください。ご連絡いただければ申請書をお送りします。

### ●協力者の募集

行方不明となった高齢者の情報を受け取り、早期発見にご協力いただける市民の方と事業者を募集しています。

### ※登録方法

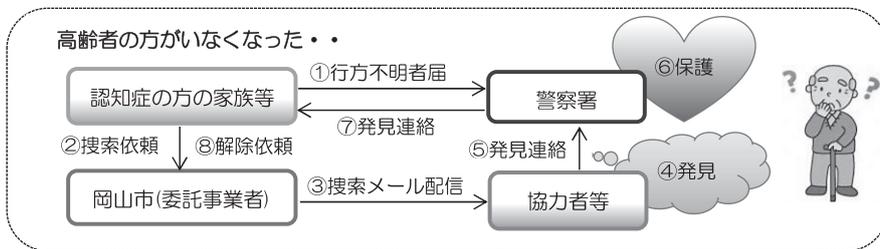
▼QRコードを読み取り、空メールを送信して案内にしたがって登録してください。



問 岡山市高齢者福祉課

TEL 〇八六―八〇三―一三三〇

高齢者の方がいなくなった…(フロー図)



## 緊急通報システムの 貸与・給付について

この事業は、家庭での急な発作や事故など、とっさの時に、身につけたペンダントのボタンを押すだけで、近くの協力員や消防署に助けを求めることができる緊急通報システムを設置し、万一の場合に備えるものです。

### ●対象となる方

自宅に固定電話(※)があり、原則として市内居住の三人の近隣協力員が得られる人で、次の①～⑤のいずれかに該当する人(ただし、同一敷地内や隣に三親等以内の親族がいる人は対象外)

- ① 六十五歳以上のひとり暮らしの人および六十歳以上六十五歳未満のひとり暮らしの高齢者で病弱な人
- ② ひとり暮らしの重度身体障害者(上肢、下肢、体幹、心臓機能に障害のある人)
- ③ 六十五歳以上のみの世帯に属する寝たきりまたは病弱な人

④ 重度身体障害者のみの世帯に属する人

⑤ 重度身体障害者と六十五歳以上の病弱な人のみの世帯に属する人

※電話回線はNTTアナログ回線での利用を原則としています。それ以外の回線でのご利用を検討されている場合は、各福祉事務所・支所または高齢者福祉課へご相談ください。

### ●費用

生計中心者の課税状況(所得税)に応じて設置費用の全部または一部および電池交換費用を負担(生計中心者が非課税の世帯の人は無料) ※通話料(緊急通報時を含む)は自己負担。

### ●申請窓口

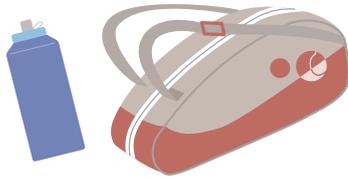
各福祉事務所、御津・建部・灘崎・瀬戸支所

問 岡山市高齢者福祉課

TEL 〇八六―八〇三―一三三〇

## わたしの趣味

### ～車椅子テニス～



南方地区民児協 眞野 英樹



毎月一回、市のテニスコートで車椅子テニスのコーチをしています。車椅子テニスは病気、事故等で下半身に障害を受けられた人が行われていますが、皆さんそれに負けず楽しそうに練習されています。



◆委員より◆ 「わたしの趣味」を募集します。写真・絵・工芸・俳句・川柳など自薦他薦は問いません。

事務局までご連絡ください。

事務局 (福祉援護課内) ☎086-803-1218

## 編集後記

民児協おかやま第四十九号をお届けします。

新型コロナウイルス感染は収まりません。これからどうなるのでしょうか、心配です。

表紙は、緒方洪庵(岡山県生)で、大阪で蘭学(医学)を学び予防接種、特に天然痘の予防接種に力を入れられ、天然痘の撲滅を目指された方です。

本稿内容は、コロナ禍の中で、各民児協の活動が制限され記事を募り発行することができませんでした。

ご寄稿くださいました皆様に広報委員一同感謝する次第です。

今年は、民生委員・児童委員の一斉改選の年に当たります。福祉向上に向け、一期だけではなくせめて二期を務め、地域に貢献していただき新しい年度を力いっぱい活躍されますよう期待しております。

川西昇記